

議会だより



そばの収穫に汗を流す美原小学校の子どもたち

主な内容

町長の行政報告（大型店出店計画 他）	2
議案の審議と結果（補正予算・条例 他）	3～ 4
<特集>わが町の財政健全化比率は	5
一般質問 5議員	6～13
議会のうごき（議会運営委員会研修 他）	14
委員会調査活動報告（産業常任委員会）	15
シリーズ ● 議会のみめ知識「健全化判断指標の解説」	5
● 輝け！学校「美原小学校」	16

平成20年第3回定例議会が9月17日から19日までの日程で開かれました。町長の行政報告を要約して掲載します。

町長の 行政報告

町有地貸し付けます

(株)フクハラは、すでに民有地に建設することを決定し、九月中に建築確認申請などを行い、来年三月にはオープンする予定です。また、コープさっぽろも、来年夏ごろ出店したいと、町有地貸付を改めて要請してきました。

両大型店ともに、七十人から百人程度の地元雇用の構想を持って

います。コープさっぽろへの町有地の貸付については、商工会や一部の方々から反対のご意見もありますが、十分承知してはいますが、多くの消費者の意向を踏まえ、地域の雇用対策やまちの活性化のため、貸付をすることに決定しました。

郊楽苑売却します

郊楽苑は、平成三年に町民の保養、休養、交流を深める場として設置されました。しかし、当初から採算ベースに合わない施設規模や事業内容となっており、毎年およそ六千万円あまりの町補助金が支出されています。「人件費抑制」「管理経費の削減」などを柱とした経営改善五か年計画を策定して努力してきましたが、抜本的な改善にいたっていません。

第三セクターを含む連結決算方式の自治体評価や補助金抑制など、その達成度が地方交付税に算定される現在の政府の方針もあり、今後のべつかい振興公社への財政負担は厳しい状況にあります。

しかしながら、年間延べ十五万人を超える利用実績があり、果たしている役割も大きいものがあります。このことから温浴機能など現施設機能を今後も維持することを前提に検討してきましたが、最終的に売却による民間活力の導入が最も望ましいと判断しました。

売却に当たっては、まず、町内事業者を対象に、現在の営業形態を継続することを条件に十月中に公募する予定です。

職員の不祥事

町職員による団体活

動費横領という不祥事が発生し、当該職員を七月三十一日付で懲戒免職にしました。不祥事を未然に防止できず、また長期間にわたって把握できなかったことに対し、心から

おわび申し上げます。今後は、庁内に職員懲罰審査委員会を設置、職員の懲戒処分等の基準を設けるなど、再発防止と町民の皆様の信頼回復に向けて努力します。

産業の動向

【酪農畜産】

生乳生産は一月〜七月で前年対比一〇三・五%、生乳単価は七十七・八円(前年対比一〇六・七%)となつて

います。個体販売は、価格・販売頭数ともに減少しています。

【漁業】

八月二十六日から始まった秋サケ漁は、九月九日現在、全体数量で六百七十一トン、昨年同期比六十トンの減少です。

【商工観光】

八月までの観光客の入込み数は前年比一三・九%減の十八万九千二百人となっています。



不振が伝えられる秋サケ漁

7月31日に臨時議会が開かれました。7月臨時議会と9月定例議会で審議・決定された事項は次のとおりです。



高台に建設工事が始まった床丹地区避難施設

◆**床丹地区避難施設**
簡易公募型指名競争
入札で近藤建設株式会

工事請負契約を
締結しました

**7月
臨時議会**
7月31日開催

**平成20年度
一般会計補正予算**
(2回目の補正)

補正額	予算総額
460万円 増	156億6,530万円
主な補正 ・ 清浄海水導入事業補助金 460万円を増額	

◆**ふるさと寄附条例**
◆**ふるさと応援基金条**
例
平成二十年の地方税
法の改正により、ふる
さとに対し、貢献・応
援したい方のおもいを

条例を制定
しました

社が落札しました。
契約金額は五千四百
二十八万五千円で、工
期は平成二十年八月一
日から平成二十年十二
月十五日までです。

**9月
定例議会**
9月17日～19日開催

◆**児童デイサービスセ**
ンター条例
障がいの程度に応じ
た心身の発達支援を行
い、障がい児の福祉増
進を図るため、平成二
十一年四月から運営予
定の児童デイサービス
事業に係る施設設置・
管理等についての条例
を制定しました。

実現する観点から「ふ
るさと納税制度」が導
入され、その推進と寄
付金を各分野の事業に
積立・活用するための
条例を制定しました。

条例を一部
改めました

◆**特別職で常勤のもの**
の給与および旅費に
関する条例
町特別職報酬等審議
会の答申を受け、町長・
副町長の月額給与を一
か月間、現行から一〇%
減額する内容に改めま
した。

◆**安全で住みよいまち**
づくり条例
「犯罪被害者基本法」
の中で犯罪被害者の支
援が規定されているこ
とを受け、犯罪被害者

◆**町立学校設置条例**
本年度をもって豊原
小学校・美原小学校が
中春別小学校へ統合さ
れることに伴い、小学
校の設置数を改めまし
た。



50年の歴史を終え来年3月で閉校する豊原小学校

平成十九年度
各会計決算審査特別委員会を設置

委員 長	戸田 博義
副委員 長	瀧川 榮子
委員	横堀 昭康
委員	安田 輝男
委員	戸田 憲悦
委員	松原 政勝
委員	安部 政博
委員	西原 浩

9月
定例議会

平成20年度補正予算

補正額	予算総額
◇一般会計（3回目の補正） 1億4,410万円 増	156億 940万円
◇下水道事業特別会計（1回目の補正） 170万円 増	11億7,150万円
◇介護保険特別会計（1回目の補正） 1,032万円 増	9億 802万円

一般会計の主な補正

- ・除雪業務委託料 9,650万円増
- ・過誤納還付金（税制改正に伴う還付金） 2,300万円増
- ・振興奨励事業（防犯灯整備事業） 229万円増
- ・調整交付金事業（別海川上町南4条通線改良工事） 1,748万円増

下水道事業特別会計の主な補正

- ・落雷事故共済金 104万円増
- ・一般管理費（臨時職員雇用） 155万円増

介護保険特別会計の主な補正

- ・繰越金 1,755万円増
- ・償還金 740万円増

財産を取得しました

◆地域生活バスの購入

指名競争入札で三菱ふそうトラック・バス（株）北海道ふそう釧路支店が落札しました。契約金額は二千二百六十二万七千五百円です。

町有財産を譲渡しました

◆さけ・ますふ化場

（本別・建物）さけ・ます資源の増大と維持安定、施設の円滑な管理運営を図るため、「（社）さけます増殖事業協会」に無償譲渡しました。

委員の推薦を承認しました

◆人権擁護委員の推薦

委員の増員依頼を受け、新たに岡部雪子さんの推薦を承認しました。任期は、平成二十三年十二月三十一日の

国・道に意見書を提出しました

◆道路整備に必要な財源の確保に関する意見書

提出者 総務建設常任委員会
委員長 池田幸雄 議員

地方が必要とする道



新任された岡部 雪子さん

三年です。

路整備・維持管理に要する財源の確保や地域の実情に十分配慮した道路整備を着実に推進できるような確実に措置することなどを求める意見書が提出され、委員の賛成をもって可決されました。

◆二〇〇九年度国会予算における義務教育無償、義務教育費国庫負担金制度の堅持と負担率二分の一復元等教育予算の確保・拡充を求める意見書

提出者 文教厚生常任委員会
委員長 安部政博 議員

地方財政が厳しい状況の中、等しく子ども達が教育を受けられる制度の堅持と教育予算の確保・拡充などを求める意見書が提出され、委員の賛成をもって可決されました。

◆国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書

提出者 産業常任委員会
委員長 戸田憲悦 議員

地球温暖化防止対策のための必要な予算確保や森林整備における自治体や森林保有者の負担軽減を図りながら、森林・林業基本計画の着実な推進と森林の多面的機能の維持を求める意見書が提出され、委員の賛成をもって可決されました。



温暖化防止のためにも森林整備が求められている



財政健全化比率を報告

自治体財政健全化法が成立し、平成19年度決算から公表されることになりました。当町も第三回定例議会に監査委員の意見書を添えて報告されました。

当町の財政健全化比率は？

報告された当町の健全化判断比率等

■健全化判断比率

比率名	平成19年度	早期健全化基準
実質赤字比率	赤字なし	13.51%
連結実質赤字比率	赤字なし	18.51%
実質公債費比率	18.2%	25.0%
将来負担比率	140.4%	350.0%

■資金不足比率

会計名	平成19年度	経営健全化基準
下水道事業	資金不足なし	20.0%
病院事業	資金不足なし	20.0%
水道事業	資金不足なし	20.0%



建て替え時期がせまってきている中央公民館

道内自治体の財政破たんを契機に、平成十九年六月、「自治体財政健全化法」が成立しました。自治体が破たんしてしまうと社会的影響が大きいため、財政の悪化を防ぐための制度として作られました。財政状況を判断する四つの指標と、公営企業会計の資金不足比率（別表・「議会のまめ知識」）

知識（参照）を定め、この基準値の一つでも超過すると「早期健全化段階」、それ以上悪くなると「財政再生段階」となると国の管理団体になります。サッカーの試合でいえば、「早期健全化段階」はイエローカード、それ以上悪くなつた場合は、レッドカードを出された状況です。

この比率は、平成十九年度決算では公表の義務化だけですが、平成二十年度の決算以降から一つでも基準を超えることとなります。公表された当町の比率は別表の通りです。当町の比率は全て基準をクリアしていませんが、病院建設や特別養護老人ホーム、中央公民館の建て替え時期

が来ており、今後は当然この基準値の推移を見ながら計画していくこととなります。しかし、指標にとらわれすぎて自治体本来の仕事である住民サービスの低下や、増税などになるような事態は

避けなければなりません。そのためには最小の費用で最大の効果を上げるため知恵を出し、工夫しながら取り組んでいく必要があります。

議会のまめ知識

健全化判断指標の解説

- 【実質赤字比率】…一般会計の標準財政規模（注）に対する赤字額の比率
 - 【連結実質赤字比率】…公営企業会計を含む全会計を総合した標準財政規模に対する赤字額の比率
 - 【実質公債費比率】…標準財政規模に対する地方債償還金など債務の比率
 - 【将来負担比率】…標準財政規模に対する将来負担すべき債務の比率
 - 【資金不足比率】…各公営企業ごとの事業規模に対する資金不足額の比率
- （注）標準財政規模
地方公共団体で標準的な状態で見込まれる一般財源（収入）の規模。
当町の平成十九年度の標準財政規模は、約九十億三千万円です。

町政の ここが聞きたい

9月定例議会では第2日目(9月18日)に5議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

■佐藤初雄 議員

- 1 酪農・畜産の経営安定対策は……………6
- 2 中山間事業の継続を……………7
- 3 墓地の整備方針は……………7
- 4 福祉灯油の拡充対策を……………8
- 5 除雪の委託基準は……………8

■丹羽勝夫 議員

- 1 乳業興社の経営診断は必要ですか……………9

■中村忠士 議員

- 1 公住の建てかえ計画に住民の意見を……………10
- 2 教育行政のいっそうの情報公開を……………10
- 3 米海兵隊訓練が矢臼別に集中する傾向にある…11
- 4 交差点の安全対策を……………11

■西原 浩 議員

- 1 大型店に町有地を貸し付ける理由は……………12

■瀧川榮子 議員

- 1 冬期暖房費の申請を簡単に……………12
- 2 学校給食に地元産を……………13
- 3 老健の正月外泊を選択的に……………13

佐藤議員 酪農・畜産の 経営安定対策は

町長 強化して取り組みます

佐藤初雄議員

原油価格・生産資材高騰などで七、八割の農家が組勘収支の赤字が予想されます。生産者の経営努力は自助努力の範囲を超える影響を受けています。放置すれば、酪農・休農が多発する状況となっております。

基幹産業である酪農・畜産が崩壊すれば、別海町は沈没します。過去五年の酪農・休農の要因別、規模別状況、組勘の赤字状況と戸数の推移をお知らせください。

秋産業振興部長

二十年度組勘状況は、五JAで六億円赤字で、昨年より一〇%良い見

■5年間の推移状況(平成15年度～平成19年度)

年 度	H15	H16	H17	H18	H19	合計	
①離 農	24戸	26戸	23戸	17戸	22戸	112戸	
主な理由	ア 後継者不足	5戸	7戸	3戸	4戸	7戸	26戸
	イ 営農不振	6戸	4戸	4戸	7戸	6戸	27戸
	ウ その他 (将来不安・経営転換)	13戸	15戸	16戸	16戸	9戸	59戸
規模別	1～49頭	15戸	17戸	9戸	10戸	11戸	55.3%
	50～99頭	8戸	7戸	13戸	6戸	10戸	39.2%
	100頭以上	1戸	2戸	1戸	1戸	1戸	5.3%
②新規就農						19戸	
③組勘貸越	戸 数	360戸	381戸	387戸	405戸	378戸	
	総 額	10.8億円	13.0億円	15.4億円	18.5億円	16.5億円	
	一戸当たり	300万円	340万円	398万円	457万円	437万円	

質 問

町の強力な経営安定

込みです。要因として、乳価の上昇、経営意識の高まりなどが考えられます。

水沼町長
国の対策は不十分で、他町村、団体と連携し積極的に要請活動を展開します。
また、厳しい経営環境を消費者の皆さんにご理解いただく努力も必要と考えています。

対策が必要です。また、国、道に当町が先頭に立って要請の強力な運動展開が必要です。

佐藤議員

中山間事業の継続を

町長 先頭に立って運動します

佐藤初雄議員

中山間事業は全国の対象面積の九%を当町が占めています。事業の継続に向けた強力な

運動展開が必要です。別海町集落(三〇%)分の取り組み内容をお知らせください。

秋森産業振興部長

(答弁を別表にまとめました)

質問

■中山間事業別海町集落(30%)分の内訳

①面積測定、圃場管理、農業振興計画等	約 2,669万円
②河畔林の植林	約 1,780万円
③草地整備改良	約 1,628万円
④雑排水処理施設、BVD・MD対策 FAX同報装置更新、エゾシカ対策	約1億3,808万円
⑤酪農ヘルパー・研修牧場助成	約 4,301万円
⑥福祉牛乳、牛乳消費拡大	約 3,830万円

※中山間事業の当町の総事業費 約8億5,893万円

水沼町長
本事業に対する国の厳し

十年間で約九十億円が交付されています。当町が先頭に立って、継続と内容の充実強化を目指す、強力な要請活動を展開すべきと考えます。



管理が大変になっている町内の霊園・墓地

佐竹福祉部長
墓地の指導監督に関する事務については、都道府県の団体委任事務として行われてきました。墓地、埋葬などに関する法律は知事の許可によりま

佐藤初雄議員
霊園は町が管理し、墓地は民間が管理しています。広範囲に点在

福祉部長 地域に協力します

佐藤議員

墓地の整備方針は

い認識があります。実施している全国の自治体また、農業者と力を合わせ、草地帯での取り組み、条件不利

地域の現状認識のために、当町が先頭に立って訴えていきます。

質問

霊園・墓地の総数、地区毎の管理運営体制の現状をお知らせください。

当町は三霊園、二十四墓地を指定しています。

佐竹福祉部長

(答弁を別表にまとめました) 除雪は彼岸の時期に一回です。

質問

墓地の統廃合を含め、今後の環境整備、管理体制についてお知らせください。

佐竹福祉部長

墓地の無縁仏化が懸念されます。現在のところ、統廃

■霊園・墓地の現状と管理体制(平成19年度実績)

1. 霊園(町内3か所)

- 別海1、西春別駅前1、尾岱沼1
- ※1 専従管理人を1名ずつ配置(常勤雇用4月~10月)
- ※2 3霊園合計報酬額(年額)3,517,000円

2. 墓地(町内24か所)

- 本別海1、走古丹1、床丹1、別海2、中春別1、豊原1、上春別5、大成2、中西別2、西春別1、上風連4、本別1、奥行1、泉川1
- ※1 管理人24名(町から委嘱)~保全・清掃美化に努める。
- ※2 消耗品・修繕料・光熱水道燃料費等 約61万円、駐車場維持料 9万3千円
- ※3 管理人年額報酬 1万5千円

合は考えていません。地域の自主的運営を前提に環境整備に協力していきます。

福祉灯油の拡充対策を

佐藤議員

町長 範囲を拡大します

灯油価格高騰による生活への影響について、冬期間に向け深刻な状況が予想されます。高齢者、ひとり親世帯、障がい者世帯、生活保護世帯、弱者あるいは低所得者などへの支援対策の拡充強化が必要であると考えます。

佐藤初雄議員

また、それぞれの世帯数をお知らせください。昨年は、民生委員の協力も得て、申請の推進を図りましたが、申請漏れのないよう、広報などを通じ周知の徹底を図っていただきました。

水沼町長

価格高騰の生活におよぼす影響を危惧し、石油・石炭・まきなど範囲を拡充し助成を実施します。

佐竹福祉部長

六十五歳以上の高齢者世帯で、ひとり暮らし世帯を含め九百四十二世帯、生活保護九十二世帯、十八歳未満扶養ひとり親九十九世帯、その内、母子家庭八十八世帯、父子家庭十一世帯です。

佐藤議員

除雪の委託基準は

建設水道部長 指名競争入札です

佐藤初雄議員

町民の生活、経営の安定、安全な交通路の

確保の実施をしているが、財源確保もたいへんと考えます。除排雪する町道の距



町民の暮らしにとって除排雪は最重要事項だ

■平成19年度実績（建設水道部担当）

	トラック	グレーダー	ドーザー	ロータリー
町有車両	3台	4台	3台	1台
民間所有車両	6台	4台	57台	2台

※民間26業者69台

町道969km、農道13km、公共施設175施設
生乳搬出路500m未満142戸、500m以上20戸

■平成19年度実績（福祉部担当分）

対象世帯	支給要件	世帯数
老人世帯	65歳以上の独居老人、夫婦世帯で一方が病弱な世帯	140~150
身体障がい者世帯	本人が1級および2級の世帯主、配偶者または義務教育修了前の子と生計を共にしている世帯	20~25
ひとり親世帯	義務教育修了前の子と生計している病弱な母親父親世帯	10~15

離散数、あるいは要保護世帯数、高齢者の世帯数、公共施設箇所数、生乳搬出路の件数と距離数、これらの対象基準要件などをお知らせください。また、除雪車の所有台数をお知らせください。

田中建設水道部長
(答弁を別表にまとめました)

佐竹福祉部長
(答弁を別表にまとめました)

丹羽議員
乳業興社の経営診断は必要ですか

町長 **継続的發展のため**

ご理解ください

丹羽勝夫議員

べつかい乳業興社「酪農工場」が二年続けて黒字決算ですが、町が三百万円をかけて経営診断する目的と調査内容をあたねします。

中山間事業の現状での費用対効果などチェック機能はどこにあるのでしょうか。

また、事業終了後の見通しをおたねします。

ハサップ取得は望ましいことと思いますが、ハサップ取得までと、取得後も費用がかかるとうかがっています。

道の認証基準で今は十分クリアしていると思えます。会社規模にあった認

証基準でよいと思いますが、診断に組み入れたいかがでしょうか。

産業振興部長

目的は、新たな経営戦略を構築する転機とすることです。町と乳業興社の役割分担、連携、将来構想などを第三者の専門的な視点から診断します。

診断内容は、経営、製造に関する部門と販売戦略と業務管理部門の四点です。

中山間事業は全町集落の取り組みなので、町が関与することはありません。

また、費用対効果の検証は難しく、興社内部の問題と考えています。

ハサップ取得にかかわる設備に五百八十五万円ほど投資しています。

牛乳に関するハサップ取得を目指していますので、継続して進めていきます。

質問

チエックなどは指定管理者制度のもとでは、町がかかわれるところですか。是非、診断に組み入れてほしいと思います。

水沼町長

中山間事業の次期継続は難しいと思います。活動をしていきます。ハサップの問題は診断に加えることは考えていません。

質問

酪農工場（指定管理者）側から町に対して協議、論議がされない旨の文書が出されています。

質問

除雪の委託基準、取扱いの現況をお知らせください。

田中建設水道部長

町有除雪車を無償貸与することを条件として、一台ごとに指名競争入札を実施していま

す。

除雪作業は町の指示です。

質問

燃料高騰による見直しを考えていますか。また、燃料費の割合などのくらいですか。

田中建設水道部長

現在、道の単価を使用しています。見直しは他官庁の動向をみて検討します。

燃料費の占める割合は一割ほどです。



ハサップ取得を目指すべつかい乳業興社

中村議員
**公住の建てかえ計画に
住民の意見を**

建設水道部長 住民と協議する
場を設けます

中村忠士議員

老朽化した公営住宅の建てかえの経過、町の基本構想、今後の計画をお知らせください。

や設計を固める前に住民の声を聞き、皆さんの要望や意見を取り入れることです。

また、設計に入る前に、住民の要望を聞き協議する場を設けたいと考えています。

田中建設水道部長

さきを実施したアンケートによる要望や意向を設計段階で可能な限り反映させたいと考えています。

また、設計に入る前に、住民の要望を聞き協議する場を設けたいと考えています。

質問

現在の位置に建てかえるのか、別のところ

に建てるのかも、皆さん心配されていることです。

田中建設水道部長

現在ある場所を取り壊して、その位置に

建てかえるという考え方で進めています。

中村議員
**教育行政の
いっそうの情報公開を**

教育長 できるところから
公開します

中村忠士議員

開していきます。

教育委員会について

は、最近役場のホームページに「議決結果」が掲載され、情報公開が進みました。校長会・教頭会、諮問会議などの公開についてお聞きします。

質問

情報公開の具体的提案をします。

今、学校の耐震化が関心の高い問題になっています。この状況について、ホームページや広報を通じて町民に直ちにお知らせしたいと思えます。

山口教育長

一方的な通知・伝達事項が多いのも事実です。

山口教育長
校長会・教頭会の会議内容については、九月三日からホームページで公開しています。諮問機関の教育振興審議会についても公開できるものから順次公開していきます。

米谷教育部長

平成十九年度、野付小・中学校の耐震診断を行い、平成二十年度は中西別小、中春別中の耐震診断、野付小校

質問

教育委員会校長会・教頭会の公開は一步前進しました。

しかし、具体的にどのような協議が行われたのかなどはわかりません。

山口教育長

また、公開できないものもかなりあります。今後一つ一つ判断して、できるところから公開していきます。

質問

大事なことは、計画

田中建設水道部長
公住入居者にアンケート調査を実施し、マスタープランを平成十九年に作成しました。平成二十九年年度までに町公住目標戸数を三百九十戸と計画しています。六次総合計画に位置づけ既存五十戸の整備を考え、平成二十二年から古い団地より着手していきます。



建てかえ計画の具体化が進められる町公営住宅

中村議員 米海兵隊訓練が矢臼別に集中する傾向にある

町長 特定の演習場に集中しないよう要請を続けます

中村忠士議員

在沖繩米海兵隊の移転訓練は、昨年他の演習場では取りやめになり、実施されたのは矢臼別のみでした。

今年度も、十月に実施予定の北富士での演習が中止されました。懸念されるのは、演習を矢臼別に集中するということです。

十一月と十二月の矢臼別での演習については、他の演習場と同様に中止して、全体的な均衡を図るべきと考えますがどうですか。

水沼町長

道と四町で組織している「連絡会議」の総意で、特定の演習場に集

中せず、五か所の持ち回り計画に基づいて分散実施することなどを要請してきました。この考え方は今後とも変わりません。

質問

五月十八日、沖縄タイムスに「米政府と合意した『重要な案件以外、日本側は裁判断を放棄する』という密約がある」と報じられました。

別海町で米兵が事件を起しても、日本の裁判断が及ばないという事態が生まれるかも知れません。

このことから、米軍の訓練は中止を求めていくべきです。

水沼町長 第五十六国会で外務大臣は「文書の作成に日本政府は関与してい

ない」と密約を否定しています。日米地位協定上の規定がある場合を除き、

日本の法令による裁判が行なわれるものと考えています。受け入れ条件が遵守

されれば、訓練の中止を申し入れる考えはありません。

中村議員

交差点の安全対策を

総務部長 町内会などと

情報交換します

中村忠士議員

先日、町内の交差点で自動車同士の衝突事故があり、酪農後継者が亡くなりました。事故の現場は、樹木等で見通しが大変悪い状況になっています。

見通しの悪い交差点、危険性の高い交差点について点検調査をしたことはありますか。

飯島総務部長

交通安全協会、町内会など町民からの要望情報の提供を受けて、反射鏡、啓発標語看板

などの設置や見通しの悪いところの伐採、枝払いをしています。全てを把握しているわけではないので、今後、調査をし、凶面化していきたいと考えています。

町内会の人をよく知っているわけですから早急に情報を集約してほしいと思います。

質問

見通しの悪い交差点でかつて死亡事故があり樹木を伐採した例があります。見通しを良くする方策を急いでと

るべきです。

また、視覚的注意だけでなく、交差点付近に入ると、例えば振動で体感的に注意が喚起される方策を含めて対策を進めるべきです。

飯島総務部長

やったことがありますが、騒音などの苦情が出て今は採用していません。いろいろな手法を検討していきます。

質問

今回事故が起こったところは町有地です。見通しを良くする具体的方策をとってほしいと思います。



交通事故を出さないためにも総点検が求められる危険な交差点

西原議員

大型店に町有地を貸し付ける理由は

町長 町の活性化のためです

西原浩議員

コープさっぽろの出店計画に関して、商工会から町有地を提供しないしてほしいという要請があるなかで、町有地を貸し付ける決断をした理由をうかがいま

水沼町長

コープさっぽろへの町有地の貸与については、商工会や一部の方からの反対や、さまざまな意見があることは承知していますが、貸

質問

付を先延ばしにすればするほど、地域の雇用対策や町の活性化につながるらないと判断し、貸与することを決定しました。

質問

町有地を公民館や生涯学習センターといった文化ゾーン、また病院建設により、一部憩いの森が消失しますが、そういう具体的な活用方法は検討していないのでしょうか。

水沼町長

現在の財政状況では、建設の計画がないので、町有地が遊休地になってしまつと判断しています。

質問

大型店と地元業者とでは資本力に大きな差があります。大型店の出店を推進するにしても、地元商工会と相談して進めるべきではありませんか。

水沼町長

大型店の出店については、競合する商店街の皆さんは痛みをとま

なうと思えます。

これから商店街を含めて、その活性化について真剣に我々も一緒

瀧川議員

冬期暖房費の申請を簡単に

福祉部長 全戸周知していきます

瀧川榮子議員

助成対象者が申請漏れのないよう、工夫が必要と考えます。

のため申請が必要でした。

個人情報の開示は個人の権利、利益を保護するということで、「受ける側は利益をそこなわれない」と、自治体によつては職員が対象者宅に向いているところがありません。

佐竹福祉部長

全戸に周知するため広報掲載、民生委員の協力を得て適切に対応します。

佐竹福祉部長

個人的に通知、うかがうということは事前に福祉課職員が税務調査をした結果うかがうことになります。

質問

昨年は個人情報保護

昨年、道に問い合わせましたが、明確な答

質問

冬期暖房費の継続的補助の条例が必要と考えます。

水沼町長

急激な価格高騰対策として実施しました。時限的なものと考えています。

質問

今年は広い範囲での助成です。領収書は必要ですか。

佐竹福祉部長

助成範囲は、灯油・まき・石炭・ガス・電



コープさっぽろへの貸与が予定されている町有地 (旧西別小学校あと地)

瀧川議員

学校給食に地元産を

教育部長 予算の範囲で

検討します

瀧川榮子議員

食品の安全性が大きく問われる中、給食の地元産の今後の取組みをお聞きします。

米谷教育部長

給食センターの施設の衛生管理上、業者で下処理をして搬入していただいています。

野菜については地元産を使用していません。安定的に供給できるならば、予算の範囲内で検討します。

質問

どこかで一歩踏み出すことが必要です。教育委員会が一歩踏み出しをする方向性はありますか。

山口教育長

過去に一度学校給食センターで中毒騒ぎがありました。この轍は踏みたくない。しかし地元産はしたい。地域の市民運動としてもやっていただきたい。それから少しずつ始められると確信しています。

質問

地元産には様々な課題があります。生産者側の協力と善意、生産者負担をどう解消するかなど地域的な協力が必要になってきます。現在の給食



学校給食に「地元産」が求められるが難しい課題もある

センターが老朽化によって利用できなくなつた時点で、身近な食材を利用する意味から自校方式も選択肢と考えますがいかがですか。

米谷教育部長

自校方式も選択肢の一つではないかと考えています。今後自校方式も視野に入れ施設整備、運営管理費など総合的に関係機関と協議し、判断していきます。

瀧川議員

老健の正月外泊を 選択性に

老健事務長 家族の理解を
得ていきます

瀧川榮子議員

老人保健施設では試行的退所サービスが入りました。このサービスをどのように進めますか。

佐竹福祉部長

老健入所者が居宅で療養を継続する可能性の高い人に対し、試行的に退所させ、在宅復帰を目指すことを目的として新設されました。必要な状態であれば、家族の意向など確認し

質問

電気にかかる金額の判断は難しいですが、確認の書類は必要です。

質問

国は生活保護世帯への補助も認めています。町も補助が必要と考えます。

水沼町長

金額は検討中ですが、本年度は生活保護世帯にも支給します。

ながら提供について検討します。

質問

必要性を本当に感じた人たちが声を上げてきたものだと思います。

正月外泊に試行的退所サービスが利用可能か検討するようですが、その内容は。

佐竹福祉部長

試行的に退所させ、居宅サービスを提供した場合、年末年始が

質問

職員「正月は家族と一緒に」との思いはわかりますが、全員外泊の現状があり、介護サービスを一〇〇%自費で使った方もいます。正月外泊を家族が選べるように変更が必要です。

佐藤老健事務長

家族の理解を得ながら進めていきます。

議会のうごき



北海道新聞本社の編集現場を見学する議会広報委員

議会広報研修会

札幌市(8月18~19日)

今年度の議会広報研修は、初日に、北海道新聞本社の視察とプロの記事の作り方や写真の撮り方を研修し、現場の具体的な説明を受け大変参考になりました。

翌日は、講師に広報プランナーの和田雅之氏を迎え、北海道第二水産ビルで、「議会報づくりと時代の潮流」というテーマで研修しました。

最近の編集傾向、読者が求める議会報など時代の変化の中で「いかに町民の目を引き、読まれる広報づくりをするか」や、実際に発行している議会広報を見ながら評価するクリニックの研修を受けました。

さらによりよい広報づくりのため、客観的な講評を得ることが必要と考え、今回も積極的にクリニックを受けました。

結果、自分たちでは当たり前と気がつかなかった内容にチェックが入りました。

「いつも勉強」と改めて考えさせられた研修でした。(山田委員)

議会運営委員会研修

札幌市(8月4日)

今年度も北海道町村議会議長会事務局長勢旗了三氏を講師に行われました。

当議会の「議会だより」が「広報コンクール」で特選に選ばれたことから、冒頭は「議会だより」が話題となり、今後も町民の皆さま

に読んでいただける紙面づくりを進めたいと意を新たにしました。今回は地方財政健全化法、地方自治法の一部改正、会議規則の講

議を受けました。地方自治法改正では、議員の法的身分を明確にし、全員協議会など

が法律上の議会活動として位置づけられる点や、報酬の名称も「議員報酬」と改めた点などの説明を受けました。研修を通じて、時代に相応した議会活動の必要性を強く促されました。

議員、議会の責任の重さを自覚し、議会活動に邁進しなければならぬと感ずる研修でした。(安部委員)

管内議員研修会

中標津町(10月7日)

今年の管内議員研修会が町村議会議長会主催で中標津町において行われました。

道立根釧農業試験場研究部長・三木直倫氏(農学博士)による講演と農業試験場視察という、農業研修の一日でした。

講演は「釧根地区の酪農業の状況について」と題し、生産資材費高騰にどう対応するかなどが内容でした。

講演の中で、「国際市場における穀物・原油価格の上昇は、世界規模で進んでいる！」と指摘をしています。

また、今後の管内酪農経営の取り組み課題として、極早トウモロ



道立根釧農試で三木研究部長の説明を聞く管内議員

コシの栽培や無除草剤更新などの、新しい粗飼料生産や、乾乳期の乳牛管理技術の向上を提言していました。

この研修会は本年を出発点として、四町持ち回りで開催することになっていきます。

二十一年度は当町が開催地となります。(松原議員)

「国営環境保全型 かんがい排水事業」を調査

産業常任委員会調査活動報告 ー戸田憲悦委員長ー

環境保全型農業の推進…

環境問題と農業振興

環境保全型農業農村基本計画（※注①）との連携のもと、農業生産性の向上と環境保全型農業の推進を目的に平成十一年度から事業が展開されています。（別表参照）

所管である当委員会では、今後、当町の農業にとって大きなウエイトを占める本事業について調査（現地調査を含む）を行ないました。

地元負担割合は…

事業の概要

本事業では、家畜ふん尿を資源として活用する持続型農業経営の展開と地域環境・地球環境の保全を図ることを目的に、肥培施設（※注②）と用水施設（※注③）を整備されます。



国営環境保全型かんがい排水事業の肥培施設（別海地区）

さらに排水整備として土砂緩止林、調整池や遊水池を設置し、負荷物質の流出を抑制して河川水質の改善を図ります。

委員会調査を終えて…

真に必要な事業展開を求め、調査終了

事業効果は、牧草の増収や肥料費のコストダウンが見込め、水質改善も図られるなど大きな魅力があります。しかし、施設の整備後は町に譲与され、そ

よび農家五%です。償還条件は事業完了後十七年（うち据置二年）、償還利率五%。維持管理は町を基本に、末端施設は使用者が管理します。

の後の維持管理を町・農家が行なうため、ランニングコストの問題などが出てきます。いまの酪農の状況・町財政を考えたとき、慎重に事業を実施すべきと判断しました。

なお、三施設を現地視察調査し、順調に事業が進められていることが確認できました。将来を十分に把握

■環境保全型かんがい排水事業 各地区事業概要

	地区名 (事業年度)	受益面積 (ha)	受益戸数 (戸)	事業費	主要工事	負担額
完了	別海地区 (平成11年度 ～ 平成19年度)	7,786	119	151億 6,800万円	用水路 14系 71.0km 排水路 30系 31.2km 肥培施設 24ブロック 48施設	町 3億9,700万円 農家 3億6,200万円
実施	別海南部地区 (平成17年度 ～ 平成25年度)	13,344	193	238億 4,000万円	用水路 118系 117.8km 排水路 29系 34.9km	
実施	別海西部地区 (平成19年度 ～ 平成27年度)	9,952	174	218億 5,000万円	用水路 123系 100.7km 排水路 8系 17.0km 取水井戸 1箇所	
調査	別海北部地区 (平成18年度 ～ 平成21年度)	27,000	500	470億円	用水路 94系 170.0km 排水路 15系 30.0km	

注①環境保全型農業農村計画（当町は平成11年3月策定）～環境への負荷の軽減に配慮し、持続的な農業の推進を目的としています。

注②肥培施設～ふん尿に含まれる肥料成分と水の相乗効果による共同利用型のシステム。

注③用水施設～水道施設の老朽化診断と改修の実施および新設。



地域の人からからそばの脱穀を教えてもらう子どもたち

美原小学校

本校では、「地域との交流を深め、地域との連携を図ること」で、子ども達の学び方や考え方を広げる「『そば学習』」に取り組んでいます。

「そばを味わう会」では、お母さんたちがつゆ作りの指導をしてくださり、保護者や祖父母、明友会の方々を招待して、子ども達との交流を深めています。

また、そばに関する「調べ学習」にも取り組み、十二月の参観日に『そば学習』のまとめとして発表会を行っています。

このように、栽培活動や調べ学習を通して、収穫の喜びや農業の難しさなど、身をもって体験することができま

学校と地域とが一体となって美原の子ども達を育てていこうという気持ちの高まりにつながっています。

編集後記



今年はおリンピックの年、世界のアスリートたちが一堂に会しその力を発揮しました。

今回の大会は北京ということもあって時差が一時間と少なく、多くの競技をテレビで見ることが出来ました。

日本選手では女子選手の活躍が目立ちました。特にソフトボールの上野選手は二日間、三試合で四百十三球を投げ見事金メダルを獲得しました。

やはり女性の力が強くなってきたのかなと、そんな思いを強くしました。

(山田委員)

文化の秋、豊原小学校の学芸会に行きました。開校五十周年記念であるが、今年最後の学芸会。大きな声でのびのびとした演技、真剣な楽器演奏、手作りの大きな背景セット、卒業生の中学生が照明や道具のスタッフとして参加。そして、それを見守る祖父母、地域の方々、成長の喜びに笑顔と歓声、会場は幸せな空気に包まれていました。

スポーツの秋、パイロットマラソンを役場庁舎の前で応援しました。「あと三キロ、がんばれ」の声に、「まだ、そんなにあるの〜」「無事、帰ってきたぞ〜」と笑顔。「もう、足にきている」と苦しそうな返答。中には「あきあじが待ってるぞ〜」とユニークな応援もありました。

会場に移動し、人の多さにびっくり。ゴール後の競技場には、走りきった達成感や充実感が満ち溢れていました。大会関係者、ボランティアスタッフの皆さん、ご苦労様でした。

(西原委員)

携帯電話は車を止めて！安全はスピードダウンと車間距離